

## 学群スタンダード

# 人間としての可能性を 知の拠点 TSUKUBA で拓く

建学の理念を踏まえて、学士課程における教育の目標とその達成方法及び教育内容の改善の方策を含む教育の枠組みを明らかにし、学位の質の保証と持続的向上を目指す本学の教育宣言として広く社会に公表します。

### 建学の理念

筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることを基本的性格とする。

そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

## 筑波大学教育倫理綱領

筑波大学は、あらゆる面で「開かれた大学」となることを目指し、固定観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを基本理念とし、我が国における大学改革を先導する役割を担っている。人類社会の調和のとれた発展を担う知の拠点として、大学にさらに大きな役割が求められるなか、筑波大学は、知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開することが可能な総合大学として、個性と自立を基軸とし、世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する人材の創出を教育の基本的な目標に掲げ、その実現のための具体的な指針として筑波スタンダード※1を定めている。これらの目標を達成するため、筑波大学のすべての教員は、教育に係わる以下の行動規範※2に従う。

1. 教員は、すべての学生の個性と能力を開花させ、豊かな人間性と創造的な知力の獲得を促し、学生とともに知の拠点を共創することに努める。
2. 教員は、学生の人格を尊重し、成長発達を促し、学生に最善の利益がもたらされるよう努める。
3. 教員は、教養教育から専門教育にわたる教育内容・教育方法の改善を継続的に行い、かつ学生の自主的な学修を支援する。
4. 教員は、筑波スタンダードに基づく明確な学習目標と成績評価の基準を定めるとともに、学習目標に沿った公正な成績評価を行う。
5. 教員は、学生の意見や批判に耳を傾け、誠実できめ細かな学生指導に努めるとともに、個人情報保護を遵守する。

※1:筑波スタンダードは、学士課程に関する「学群スタンダード」と大学院課程に関する「大学院スタンダード」からなる。

※2:5つの行動規範のうち、1は全体の指針、2は学生の人格と利益の尊重、3及び4は教育改善の義務、5は学生の個人情報の保護を定めている。

## 筑波大学が授与する学位の意味について

筑波大学は、学生の自主的な学修を支え、多様な個性や文化を尊重する倫理的態度を涵養し、すべての学生の個性と能力を開花させる。豊かな教養と情報リテラシー並びに批判的かつ創造的な思考を基盤として、対話により個性や文化の違いを超えた人と人との信頼を醸成し、社会の持続的な発展を目指して高潔かつ真摯に行動し、人間と自然を慈しみ、芸術やスポーツに親しむ豊かな人間性を育む。こうした基盤に加え、

- 学士の学位**は、世界の動向と課題の本質を理解するためにデータの調査・分析を行い、「専門の**知識・技能**」を常に更新しながら異分野の専門知識に対する**広い理解力**を持ち、「本質を究める確かな基礎力と柔軟な思考力に裏打ちされた**創造性**」を身に付け、「国際社会において課題の解決に向けて主体的に行動する**実行力**」が備わったことを認定して授与する。
- 修士の学位**は、世界の動向と課題を学術的に理解して研究を行い、「真理の発見や価値の創造に貢献できる**研究力**」または「最新の学術研究の成果を含む高度な専門知識を学際的な視座から理解し、国際社会で活かす**知の活用力**」が備わったことを認定して授与する。
- 博士の学位**は、未解決の学術的課題や社会課題に対して、「自ら問いを設定し、課題の克服に向けた学際的研究行程を描き、新たな真理の発見や価値の創造をもたらす**自立した研究力**」と「対立する概念や価値観を結びつけ、より高い次元に止揚させ統合させる**創発力**」からなる**知の創成力**に、研究成果を基に国際社会の発展に寄与する**知の活用力**が加わった**創造的な知性**が備わったことを認定して授与する。

**情報リテラシー**:情報を適切に収集、評価、利用、発信する能力

**創発力**:対立する既存の概念にとらわれず、新しい発想で異なる概念を止揚させ統合した新たな概念や価値を生み出す能力

## 筑波スタンダードとは何か

筑波スタンダードは本学による教育宣言です。学士課程の学群スタンダード(平成20年3月公表)と大学院課程の大学院スタンダード(平成23年6月公表)の2種類があり、各課程で筑波大学が何を目指し、その目標をどうやって達成するかを明らかにし、本学が保証する教育の質を広く社会に公表するものです。教育の質を維持するだけでなく、それを絶えず改善し、持続的に向上させるツールとして、筑波スタンダードは学内でも重要な役割を果たしています。

## 「学位プログラム」の意義

学位プログラムとは、学士・修士・博士といった学位の水準と学問分野に応じて達成すべき能力を明示し、その能力を学生が修得できるように体系的に設計された教育プログラムのことです。学部等の教育組織に教員が固定される従来型のシステムでは、個々の教員が提供する授業の総和としてプログラムが組まれるため、社会の要請や学生のニーズよりも教員の事情が優先されがちでした。それに対し、学位を国際的互換性のある能力の証明と位置づけた上で、学位に相応しいプログラムにするために学内外の組織の枠を超えて教員が集まり、学生視点での教育内容を提供するのが学位プログラムです。学位プログラムを中心とした教育システムとすることで、学生にとっては、自らが何を学び、どのような力を身につけるのかが明確になり、社会にとっても大学教育の方向性と成果がより明確になります。

## 筑波スタンダードと学位プログラム

本学は開学以来、従来の学部制に代えて「学群・学類」を設置し、柔軟な教育体制を構築してきました。また、学生の教育のための組織と教員の研究のための組織を分離する独自の体制を採用し、教育の必要に応じて全学から教員を配置できるシステムを実現しています。これにより、一つの組織内に閉じずに教育を展開できるという、本学の理念を体現した仕組みとなっています。2011年度には、新たな教員組織(系)を設置する組織改革を行い、さらに2020年度には大学院を改組再編するとともに全学的な教学マネジメントの体制と仕組みを整備し、学位プログラムを中心とした教育システムへと全面移行しました。筑波スタンダードでは、すべての教育組織において、学位ごとの「学位授与の方針」と「教育課程編成・実施の方針」、およびその質を保証する方策を明示しています。これらは、本学の建学の理念に基づく一貫した取組です。今後も、国際的互換性と協同性を備えた教育システムとして本学の学位プログラム制の確立及び教育の質のさらなる向上を目指し、教職員一同、不断の教育改革を推進しています。

## 学士課程の教育目標

世界に通用する知性・人間性・逞しさを備えた  
グローバル人材の育成に向け、以下の教育目標を掲げる

---

■ 本質を究める確かな基礎力と柔軟な思考力に  
裏打ちされた創造性を養う

---

■ 国際的な活躍の礎となる  
豊かな教養とコミュニケーション力を育む

---

■ 芸術やスポーツに親しみ、  
優れた文化的営みに感動する力を養う

---

■ 自然と人間を慈しみ、  
積極的に社会に貢献する態度を育む

---

■ 生涯を通して学び、  
自律的に自己を成長させ続ける力を養う

# 学生本位の教育システムによる学位の質保証

学位プログラム、適切な学修プロセス、責任ある教育実施体制により、学位の質を保証します

## ■ 学位プログラム

筑波大学は、グローバル社会で活躍できる人材の育成に向けて5つの教育目標を定めるとともに、教育目標を達成するために学士課程のすべての学生が修得すべき具体的な知識・能力等として、6項目の汎用コンピテンスを定めています。(表1)

筑波大学の学士課程では、これらの知識・能力等を学生が確実に身に付けられるよう、全学的な教育の枠組みとして、共通教育と各学群・専門学群・学類の専門教育を有機的に連携させた教育システムを構築しています。

また、各学群・専門学群・学類は、学生の卒業後の活躍の場や姿のイメージを具体化した上で、学位ごとに学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)として汎用コンピテンスに加えどのような専門的知識・能力等(専門コンピテンス)を評価するか、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)として学位授与の方針をどのように養う体系を備えているのか、入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)として対応する教育に相応しい入学者としてどのような資質や志を持った人材を求めるのかという3つの方針(ポリシー)とともに、恒常的な教育改善の仕組みを明確化して、体系的な教育を実施します。

このように学位授与に至る道筋として、3つの方針を明確化する考え方は学位の質を保証する上で極めて重要であり、それをさらに推し進めた教育システムが学位プログラムです。筑波大学は、学生本位の視点に立って、学生の学修成果を保証する学位プログラムを構築します。

## ■ 適切な学修プロセス

学位の質を保証するためには、体系的なプログラムの整備とともに、単位制度の実質化や厳格な成績評価等により、学生が適切な学修プロセスを経るよう指導することが必要です。

各学群・専門学群・学類及び共通科目等の実施組

織は、各授業科目により修得する知識・能力等とその過程(授業の事前・事後の学修を含む)を学生に明示し、計画的に授業を展開します。各授業科目における学生の到達度の判定にあたっては、明確な成績評価基準の下で厳格な成績評価を行います。

シラバス(授業計画)の充実やグレード・ポイント・アベレージ(GPA:履修科目の成績の平均値)の活用、大学院生によるティーチング・アシスタントの効果的な配置等により、学生の学修プロセスを国際標準に準拠させていきます。

## ■ 責任ある教育実施体制

教育の基本方針や教育改革に関する基本計画の策定、教養教育、学生生活支援、障害学生支援、キャリア支援等については、全学的な組織を設置して、企画立案と実施の総括を行います。

各学群・専門学群・学類においても、教育・学生支援に関する様々な業務を組織的に遂行する体制を整備し、責任をもってその実施にあたります。

また、全学的な学生組織と概ね20人の少人数クラス制により、学生の意見反映や学修全般に関するきめ細かな指導を担保します。

汎用コンピテンス(学士課程)

コミュニケーション能力	母語や外国語を適切に用いるとともに、各種メディアを利用したプレゼンテーション等を行うコミュニケーション能力
批判的・創造的思考力	一般的・専門的知識の体系的理解をベースに批判的・創造的に思考する能力
データ・情報リテラシー	様々な事象や情報を数量的手法やコンピュータ等を用いて適切に解析・処理する能力
広い視野と国際性	自身の専門に留まらず文化・社会と自然・物質に関して幅広く理解し、異文化を理解・尊重する能力
心身の健康と人間性・倫理性	芸術やスポーツへの理解と実践等を通して心と身体の健康を保ち、人間性と倫理性を有する市民としての責任を自覚して実践する能力
協働性・主体性・自律性	チームワークやリーダーシップを通して様々な物事に対処し自己を管理しながら自律的に学び続け行動する能力

表1 汎用コンピテンス(学士課程)

# TSUKUBA方式によるグローバル人材の育成

「学生本位の視点」「国際的視点」「未来の視点」に立って、世界に通用する知性・人間性・逞しさを育てます

## ■ 学生本位の視点

筑波大学の学士課程のカリキュラムでは、全学修期間を通して、確かな専門性とそれを支える豊かな教養を養います。そのために教養教育と専門教育を二分せず、学生の履修上の観点から、両者を統合したカリキュラムを編成・実施します。学位に応じて学生の学修成果を保証する教育システムとして、学位プログラム制を構築します。

教育の実施に当たっては、教員と学生・学生同士が相互に作用し合うアクティブ・ラーニングを重視し、学生の主体的・能動的な学修を促します。課外においても、各種課外活動団体の支援に加えて、本学独自の「T-ACT」システムにより、学生の自発的な活動をサポートします。また、全学的な学生組織により、学生と教職員が協働して教育・学生生活の充実・改善に取り組みます。

## ■ 国際的視点

学生が世界に目を向け、グローバル社会で活躍できる資質を身に付けるための仕組みや環境の整備をあらゆる面にわたって強力に推進します。

各々の専門分野において国際性に富んだ質の高い教育を実施するとともに、グローバル人材としての基礎的素養を培う「グローバル科目群」の設定や海外留学支援策の充実・強化により、「世界を学びの場」とする学修環境を構築します。

また、世界の様々な国からの留学生と日本人学生が、国籍や文化、専門分野の区別なく日常的に接し協働す

の開催などにより、本学のモットーである「国際性の日常化」を体現するキャンパス環境を構築します。

さらに、国境を越えて教育の質を保証していくために、国際的な通用性・互換性のある教育システムの構築に先導的に取り組みます。そして、令和6年度に採択された大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業により日本人学生と留学生が一緒になって課題に取り組む多文化共修活動を行い、グローバルな環境下で課題解決が提案できるグローバルスタートアップ人材を育成します。

## ■ 未来の視点

変化の激しいグローバル社会において未来を切り拓く力を育成するために、産業界等と連携した教育を積極的に実施します。各界のリーダーによる講義や、様々なフィールドにおける実習・インターンシップ等の実践的な科目を通じて、社会の課題の本質を捉え未来を洞察する力を養います。

学生のキャリア形成支援は入学時からスタートします。学生が自分の将来と大学における学修を結び付けて考えるためのキャリア関連科目や本学独自の「つくばキャリアポートフォリオ」等により、学生のキャリア形成を体系的に支援します。

このように、学生が社会の未来と自分の将来を重ね合わせながら、問題意識と高いモチベーションをもって学修を進めることにより、個性と自立を基軸として社会に主体的に貢献する力を育成します。

### 世界に通用する知性・人間性・逞しさを備えたグローバル人材

#### 国際的視点

「世界を学びの場」とする学修環境  
「国際性の日常化」を  
体現するキャンパス環境  
国際的互換性のある教育システム

#### 学生本位の視点

学生の学修成果を保証する  
学位プログラム制の構築  
学生の主体的・能動的学修  
学生と教職員の協働

#### 未来の視点

産業界等と連携し、グローバル社会において  
未来を切り拓く力を育成  
社会の未来と学生自身の将来を  
重ね合わせたキャリア形成

### TSUKUBA方式によるグローバル人材の育成

## 学士課程における教育理念

専門分野の学びとしての垂直展開と教養涵養のための水平展開

### ■ 理念

本学では開学以来、「共通科目」に加えて、他組織開設の専門科目等を履修する「関連科目」を置いて、他学群・学類の専門性を統合した教養教育を通じ、広い学問的視野に基づく高度な問題解決能力を持つ学生を養成してきました。

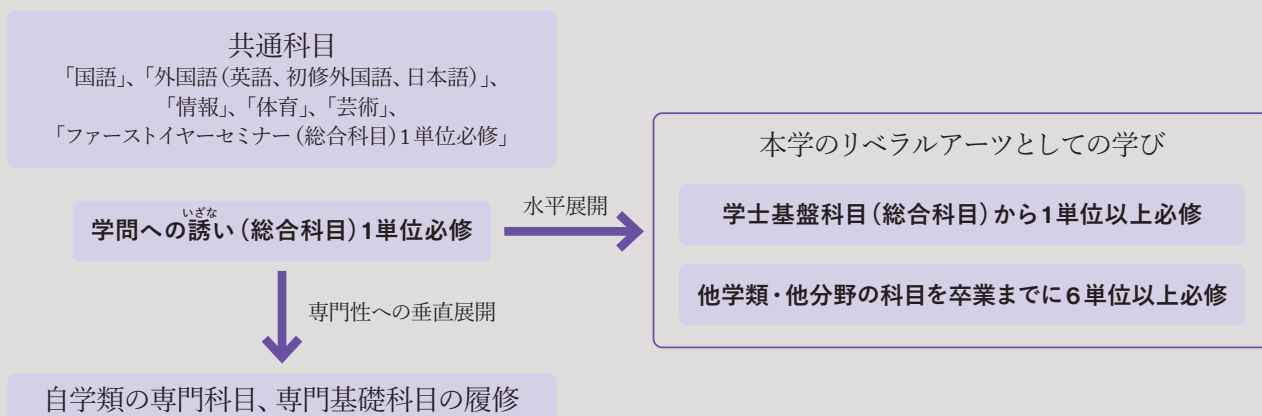
この精神を踏襲し、さらに専門智と汎用智が涵養されて総合智を身につけることができることを理念とする教育体系を構築しました。図のように、自らの専門性を深める学びを垂直的な学びの展開ととらえ、本学のリベラルアーツとしての学びは水平的な学びの展開ととらえます。この両者をともに実践できる教育体系を実現できることを理念としています。

### ■ 理念を実現するために

この水平と垂直の要(かなめ)に、「学問への誘い<sup>いざな</sup>」を総合科目(必修)として開設し、この履修を通じて大学における学問のあり方や扱う問題、探求対象をまず学びます。一方、学問に対する考え方の深化や、グローバル

人材に不可欠な教養、あるいは分野横断的な内容を含む総合科目(学士基盤科目)の中から自由に選択して履修することで、社会にある様々な探求対象と学問分野のつながりを理解します。また、各学類・専門学群が開設する「専門導入科目」の履修は、その科目を開設した組織に所属する学生にとっては専門の基礎を学ぶものとなり、それ以外の学生にとっては自分が専門とする分野とは異なる分野の学びとするしくみを整えています。各教育組織がそのカリキュラムポリシーに基づき、水平・垂直ともに体系的な履修を促すことで、学士課程において一貫した教養教育と高度で深い専門教育をより充実したものにします。これにより、複数分野から学生各自が自分の専門性を発見するための能力を涵養し、さらに、様々な学問分野の中で自分の主たる専門分野の位置づけを説明できる広い視野を持つ人材を養成します。

この理念の実践を更に推し進め、2021年度からは「総合学域群」を新たに設置しました。総合学域群では、入学して1年間様々な学問分野に触れた上で所属する学群・学類を選択することができます。



## 全学的な教学マネジメントの実現

モニタリングとプログラムレビューを中核とする内部質保証の確立により教育の継続的な改善を推進します

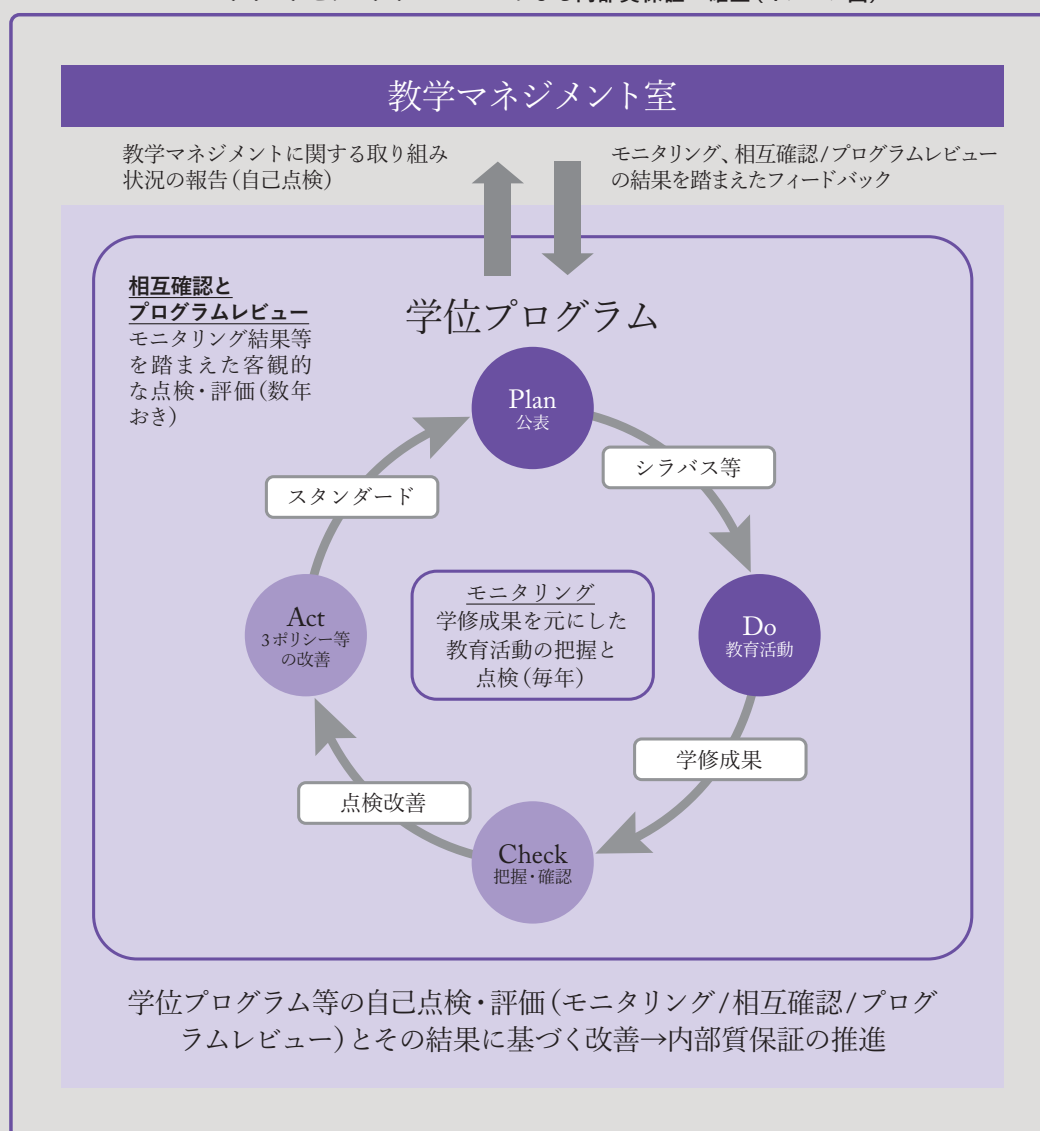
### ■ 全学的な教学マネジメントによる PDCA サイクルの推進

学位プログラムの教育の質を持続的に保証・向上させていくため、教学マネジメント室を設置し、全学的な教学マネジメントを実現します。

教学マネジメント室では、学位プログラムのモニタリ

ング(毎年の自己点検)とプログラムレビュー(数年おき  
に実施する総合的な点検・評価)の取組を中核としつ  
つ、学位プログラムの新設又は改組等に伴う質保証の  
審査、体系的なファカルティ・ディベロップメントの推  
進及び高等教育に関する調査研究などを行い、内部  
質保証の確立と高度化を図ります。

モニタリングとプログラムレビューによる内部質保証の確立(イメージ図)



## 全体目次

建学の理念	1
筑波大学教育倫理綱領／学位授与の方針について	2
筑波スタンダードと学位プログラム	3
学士課程の教育目標	4
教育目標の達成に向けた方針	5

## 教養教育

Liberal Arts Education

10

---

## 総合学域群

School of Comprehensive Studies

24

---

## 学群・学類

Undergraduate Schools and Colleges

28

---